

【模範解答】

①

世 界 史

受 験 番 号				氏 名			

1

問 1											
(1)	イ	(2)	ウ	(3)	カ	(4)	キ	(5)	コ		
(6)	サ	(7)	セ	(8)	ソ						
問 2		問 3		問 4		問 5		問 6		問 7	
イ		エ		エ		ウ		ア		イ	
問 8		問 9		問10		問11		問12		問13	
ア		イ		ア		ウ		イ		エ	

2

問 1		問 2		問 3		問 4		問 5	
イ		ア		ア		イ		エ	
問 6									
(1)	ス	(2)	ウ	(3)	サ	(4)	シ	(5)	キ
問 7		問 8		問 9		問10		問11	
ウ		イ		エ		ウ		エ	

3

問 1											
(A)	ウ	(B)	コ	(C)	サ	(D)	セ	(E)	オ	(F)	テ
問 2			問 3		問 4		問 5				
イ	ウ	イ	ア	本部の所在地		エ	原加盟国の数		カ		
問 6							問 7				
略語	PLO			人物	イ	オスロ		合意			

2025年度一般入試 A 日程

— 傾向と対策 —

世界史

出題のねらい

『歴史総合』および『世界史探究』で学ぶ基本的な事項を、時事問題や現代の諸問題と絡めて出題しています。大学入学共通テストのように資料の読み取りや会話形式はとらず、形式としては『旧日本史B』と類似していますが、一問一答的な用語の暗記にとどまらず、人物や王朝、出来事などを時代の流れの中で把握することを求めています。また、あえて概念的な用語を問うことで、些末な事実を覚えるだけではなく、時代や地域を大きな枠組みでとらえる力を測ることも意識しています。

出題形式・内容（分野）について

例年通り、大問3題で構成し、さまざまな地域の歴史や文化について出題しました。

特定のテーマの出題文を読んで、適切な解答を記述もしくは語群から選択する形式です。世界史の広い範囲からの出題ですので、重要な人物や出来事などの用語を暗記するだけでなく、その周辺地域や国際事情についても目配りをして考えてください。

[1] は「都市」をテーマとしたリード文で、諸地域の前近代の歴史について幅広く出題しました。都市の形成や発展の歴史を辿ることは、政治的、経済的、文化的など、多角的な視点で歴史的事象を捉えることにつながります。今回は様々な分野における基礎的な知識を問う出題としました。

[2] は、イギリスとフランスの植民地争奪をテーマとしたリード文で、近世ヨーロッパについて出題しました。近世以降の世界の歴史は前近代と異なり、国内では統治体制の変容、国外では外交上の駆け引きが生じるなど、現代の諸課題について考えるために必要は概念を私たちに教えてくれます。

[3] は、パレスチナ問題をテーマとしたリード文で、第二次世界大戦後の国際秩序について出題しました。歴史総合の学習のなかで「対立と協調」について深める際に、戦後の国際連合の役割とパレスチナでの対立は題材として扱った人も多いのではないのでしょうか。

採点後の感想・効果的な学習方法

基本はまず教科書を熟読することから始めましょう。特に近現代史に関しては、『世界史探究』の教科書とともに『歴史総合』の教科書を用いた学習が有効です。教科書から歴史のストーリーを読み取り、物事の背景や相互関係を理解することが、歴史の学習では大切です。闇雲に暗記する学習ではなく、問題[3]のように何かの探究テーマに沿って整理・分類する学習もよいでしょう。

また、教科書や資料集などに掲載されている「史資料」にも目を通し、文章や図版から情報を読み取るトレーニングも行っておくと、より内容理解を深めることができます。